

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 メイコー
 コード番号 6787 URL <https://www.meiko-elec.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 本多 正行

TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	59,122	4.3	3,410	39.9	3,022	52.4	2,366	55.6
2019年3月期第2四半期	61,758	16.1	5,674	46.8	6,345	125.1	5,331	149.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,023百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 5,615百万円 (55.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	90.40	
2019年3月期第2四半期	203.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	126,629	32,040	25.3
2019年3月期	120,655	33,587	27.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 32,040百万円 2019年3月期 33,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)期末配当金については、現時点において未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	0.9	7,500	16.0	6,300	26.8	5,300	21.4	202.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	26,803,320 株	2019年3月期	26,803,320 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	629,427 株	2019年3月期	629,378 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	26,173,895 株	2019年3月期2Q	26,174,009 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月14日に機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における電子部品業界は、世界景気の減速や顧客の在庫調整などの影響により弱含みで推移いたしました。こうした中であって5Gの立ち上がりを迎え、基地局需要を手始めにスマートフォンや自動運転分野などへの波及が見込まれており、徐々に受注環境の改善に向かうことが期待されております。

このような状況の中、当社グループでは、5G時代の到来に向け次世代の自動車、スマートフォン、IoT/AI家電の案件が増加しつつありますが、当第2四半期連結累計期間においては、スマートフォン市場の低迷の影響を受けました。車載向け基板は、電装化の流れとビルドアップ化を含めた高多層化を背景に好調に推移しており、前年同期比で7億円の増収となりました。スマートフォン向け基板は、生産量が減少しており、前年同期比で46億円の減収となりました。その他分野の基板は、IoT/AI家電向け基板とアミューズメント向けビルドアップ基板の受注が好調に推移した結果、前年同期比で21億円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、59,122百万円（前年同期比4.3%減）と前年同期に比べ2,636百万円の減収となりました。損益面では、営業利益が3,410百万円（前年同期比39.9%減）、経常利益が3,022百万円（前年同期比52.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,366百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は126,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,973百万円増加しました。流動資産において、現金及び預金が1,049百万円増加、受取手形及び売掛金が2,015百万円増加、たな卸資産が1,221百万円増加、固定資産において、有形固定資産が2,624百万円増加、投資その他の資産が1,237百万円減少が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は94,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,520百万円増加しました。流動負債において、支払手形及び買掛金が1,541百万円増加、短期借入金が2,004百万円増加、流動負債のその他が1,064百万円減少、固定負債において、長期借入金が4,997百万円増加が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は32,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,547百万円減少しました。利益剰余金が1,842百万円増加、為替換算調整勘定が3,398百万円減少が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、12,446百万円となり、前連結会計年度に比べ1,027百万円増加(前年同期は2,873百万円減少)しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、4,480百万円(前年同期は6,900百万円の増加)となりました。この増加は、主に税金等調整前四半期純利益2,842百万円、減価償却費3,345百万円、仕入債務の増加2,177百万円による資金の増加と、売上債権の増加2,495百万円、たな卸資産の増加1,830百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、8,899百万円(前年同期は9,153百万円の減少)となりました。この減少は、主に有形固定資産の取得による支出8,818百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、5,828百万円(前年同期は774百万円の減少)となりました。この増加は、主に短期借入金の純増額2,121百万円、長期借入れによる収入12,700百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出7,892百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,657	12,706
受取手形及び売掛金	25,833	27,848
商品及び製品	5,884	6,142
仕掛品	4,674	4,922
原材料及び貯蔵品	5,413	6,129
その他	2,701	2,950
貸倒引当金	△143	△136
流動資産合計	56,021	60,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,843	22,358
機械装置及び運搬具（純額）	24,480	26,718
土地	1,488	1,488
建設仮勘定	9,580	6,458
その他（純額）	5,160	4,154
有形固定資産合計	58,553	61,178
無形固定資産	269	314
投資その他の資産	5,811	4,573
固定資産合計	64,634	66,065
資産合計	120,655	126,629

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,797	17,338
短期借入金	7,637	9,642
1年内返済予定の長期借入金	14,385	14,135
未払法人税等	220	297
賞与引当金	667	732
役員賞与引当金	18	—
その他	9,204	8,140
流動負債合計	47,932	50,287
固定負債		
長期借入金	34,764	39,762
役員退職慰労引当金	217	217
退職給付に係る負債	2,689	2,716
その他	1,463	1,604
固定負債合計	39,135	44,300
負債合計	87,068	94,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	6,464	6,464
利益剰余金	11,489	13,332
自己株式	△396	△396
株主資本合計	30,446	32,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65	11
繰延ヘッジ損益	183	92
為替換算調整勘定	3,322	△76
退職給付に係る調整累計額	△298	△276
その他の包括利益累計額合計	3,141	△248
純資産合計	33,587	32,040
負債純資産合計	120,655	126,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	61,758	59,122
売上原価	50,339	49,961
売上総利益	11,418	9,160
販売費及び一般管理費	5,744	5,749
営業利益	5,674	3,410
営業外収益		
受取利息	29	44
受取配当金	5	3
助成金収入	73	133
為替差益	1,126	—
その他	406	84
営業外収益合計	1,641	266
営業外費用		
支払利息	425	352
為替差損	—	172
その他	544	130
営業外費用合計	970	654
経常利益	6,345	3,022
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除売却損	129	76
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	106
特別損失合計	129	182
税金等調整前四半期純利益	6,217	2,842
法人税等	886	476
四半期純利益	5,331	2,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,331	2,366

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	5,331	2,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	77
繰延ヘッジ損益	5	△90
為替換算調整勘定	256	△3,398
退職給付に係る調整額	31	22
その他の包括利益合計	283	△3,389
四半期包括利益	5,615	△1,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,615	△1,023

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,217	2,842
減価償却費	3,074	3,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△74	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	67
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	93	49
受取利息及び受取配当金	△34	△47
支払利息	425	352
為替差損益(△は益)	△404	310
有形固定資産除売却損益(△は益)	127	76
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	106
売上債権の増減額(△は増加)	△3,384	△2,495
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,171	△1,830
仕入債務の増減額(△は減少)	3,168	2,177
その他の資産の増減額(△は増加)	28	225
その他の負債の増減額(△は減少)	282	△100
その他	△70	13
小計	7,252	5,068
利息及び配当金の受取額	34	47
利息の支払額	△441	△376
保険金の受取額	289	13
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△234	△271
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,900	4,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,723	△8,818
有形固定資産の売却による収入	40	0
無形固定資産の取得による支出	△63	△88
投資有価証券の取得による支出	△79	—
投資有価証券の売却による収入	—	5
保険積立金の積立による支出	△1	△1
その他	△1,326	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,153	△8,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,950	2,121
長期借入れによる収入	17,250	12,700
長期借入金の返済による支出	△4,850	△7,892
リース債務の返済による支出	△680	△577
自己株式の取得による支出	△5,281	△0
配当金の支払額	△260	△523
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774	5,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	△382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,873	1,027
現金及び現金同等物の期首残高	15,190	11,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,316	12,446

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用する在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の流動資産の「その他」が27百万円減少、有形固定資産の「その他(純額)」が1,190百万円増加、「投資その他の資産」が730百万円減少し、流動負債の「その他」が78百万円及び固定負債の「その他」が332百万円それぞれ増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、電子回路基板等の設計、製造販売及びこれらの付随業務の電子関連事業を主とし、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。